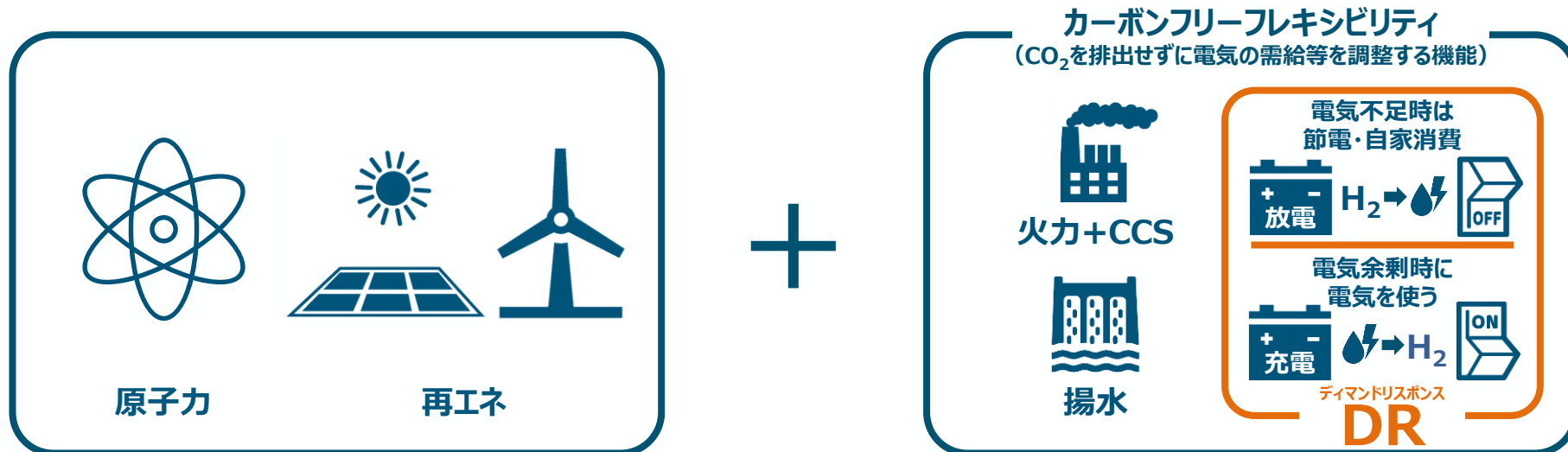


# GX・エネルギー政策におけるDR政策の必要性

- 2050年CNの実現に向けては、S+3Eを大前提に、ベースロード電源として原子力の最大限の活用および再生可能エネルギーの主力電源化が必要。
- 一方、長期固定電源※である原子力、太陽光や風力などの変動性再生可能エネルギーが共存するためには、DRに挙げられるカーボンフリーフレキシビリティの確保が必要。

※ 長期にわたり安定的に運転を行うことで高いコスト競争力を発揮するという特性を持つ、地熱や原子力といった電源のこと。また、これらの電源は一般的に、短時間で出力を上げ下げ（負荷追従）することが技術的に困難という特性があり、仮に停止した場合、再度運転させるまでに時間がかかるため、運転を再開するまでの間の電力需要を満たすためには、すぐに運転を再開できる火力で埋め合わせることとなり、結果としてコストやCO2排出量の増加につながる。



## 再生可能エネルギー導入拡大に向けた分散型エネルギーリソース導入支援等事業

令和7年度概算要求額 **101億円（15億円）**

資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部新エネルギーシステム課

資源エネルギー庁電力・ガス事業部電力産業・市場室

### 事業の内容

#### 事業目的

再生可能エネルギーの更なる導入拡大を進めるために、分散型エネルギーリソースの導入に関する支援や実証事業を行う。

また、地域に根差した再生可能エネルギー事業の拡大のために、地域共生に取り組む優良事業の顕彰や、再生可能エネルギーや分散型エネルギーリソースの導入拡大に向けた課題や方策について調査・分析を行う。

これらを通じ、2050年カーボンニュートラルの実現に向け再生可能エネルギーの導入の加速化等を図ることを目的とする。

#### 事業概要

(1) 配電事業等の参入を見据えた地域独立システムの構築・計画策定支援事業

災害等による長期停電時に一般送配電事業者等が運営する電力系統から独立して電力を供給する「地域独立システム」の構築等に係る費用を補助する。

(2) 地域共生型再生可能エネルギー顕彰事業

地域に根差し信頼される再生可能エネルギーの拡大を目的に、地域共生に取り組む優良事業を顕彰する。

(3) 分散型エネルギーリソース導入拡大に向けた調査分析事業

分散型エネルギーリソースの導入拡大に向け、定置用蓄電システム並びにアグリゲーションビジネス等に係る調査・分析を行う。

(4) DRに対応したリソース導入拡大支援事業

DRに活用可能な家庭・業務産業用蓄電システムの導入やDR拡大に向けたIoT化支援、スマートメーター活用に向けた支援に係る費用を補助する。

### 事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）

(1)

補助（1/2以内）



(2) (3)

委託



(4)

補助(定額)

補助（定額、1/2以内、1/3以内）



### 成果目標

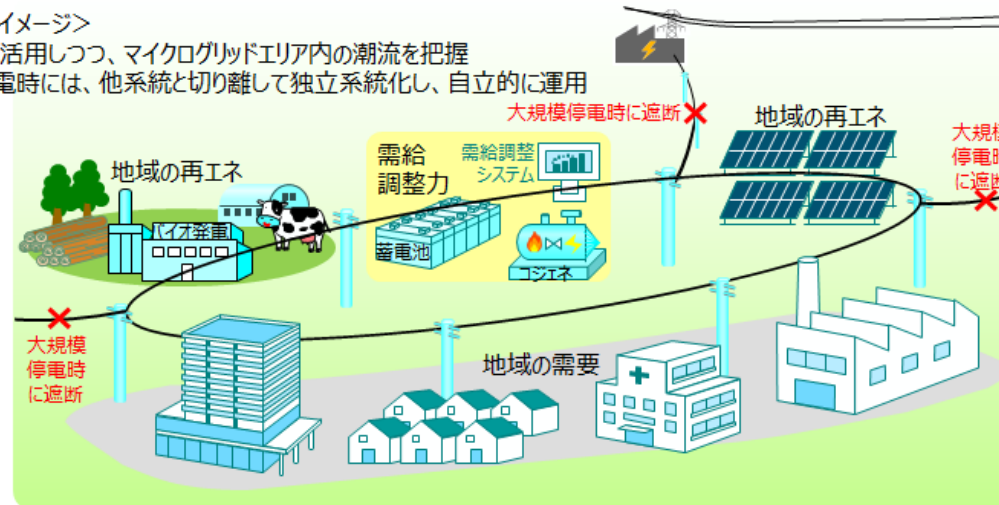
これらの事業を通じ、第6次エネルギー基本計画で設定された2030年までの再生可能エネルギー電源構成比率36～38%の達成を目指す。

# 地域マイクログリッドとは

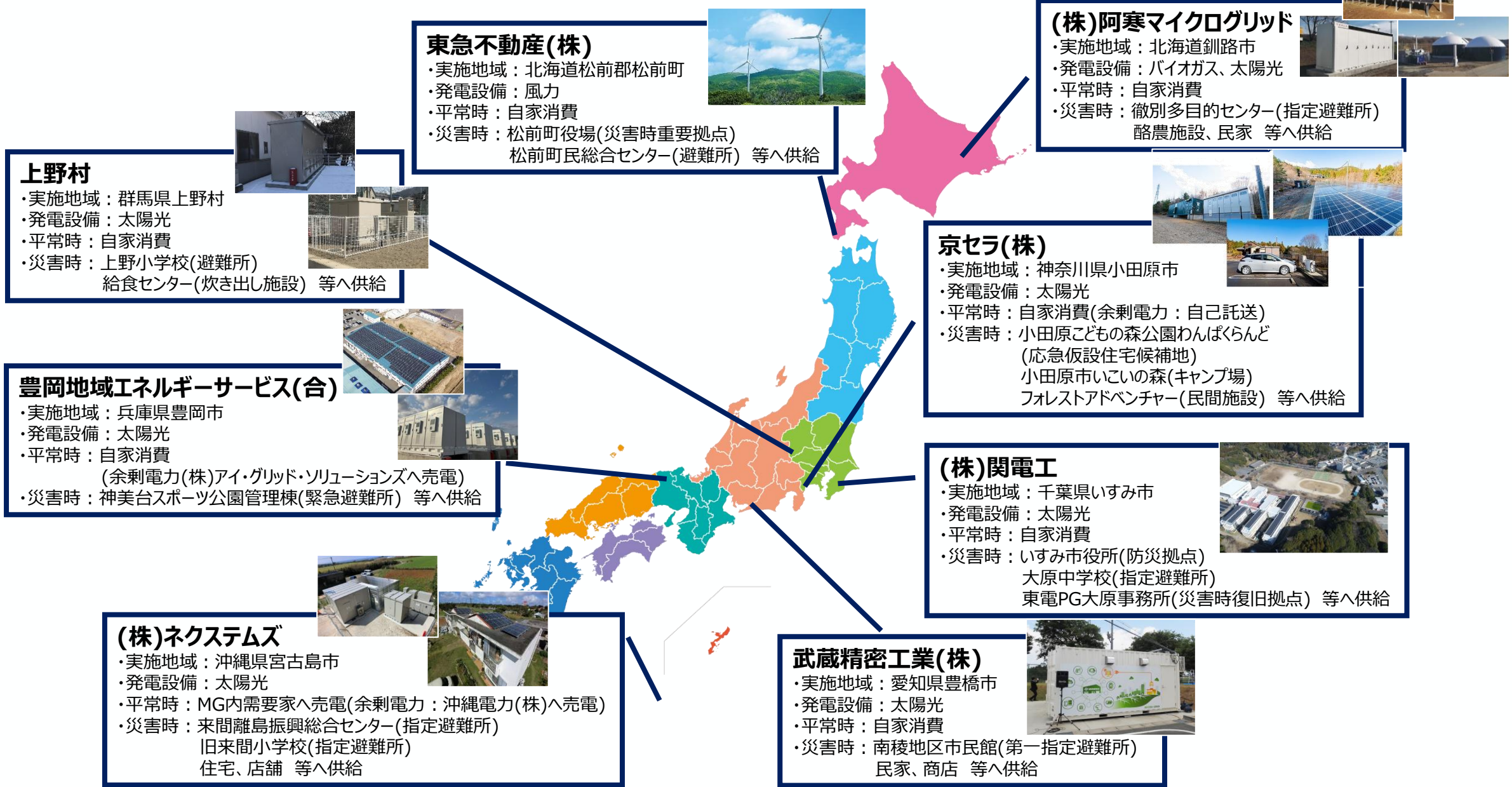
- 地域独立系統（マイクログリッド）は、地域内の電気や熱の地産地消を促進し、地域の効率的なエネルギー利用を可能とするとともに、レジリエンス強化・地域活性化にも貢献。
- マイクログリッド内でエネルギーの需給を効率的に調整することで、混雑が懸念される送電レベルに流れる電力量が低下すれば電力ネットワーク設備の増強に関する費用負担や時間の回避が可能。さらに、地方、特に長距離の送配電線が敷設されている山間地等では、系統運用を効率化にもつながる。
- 経済性（系統線と区別した自営線敷設や蓄電池等の設備設置といった導入コストに加え、運営にかかる維持コスト）、ノウハウ（運用上の関係法規への対策や系統からの解列・復旧方法といった技術的知見のみならず、一般送配電事業者や地元自治体、需要家といった多様なステークホルダーとの合意形成にかかる知見の蓄積）が普及への課題。

<地域マイクログリッド構築イメージ>

- ・平常時は各設備を有効活用しつつ、マイクログリッドエリア内の潮流を把握
- ・災害等による大規模停電時には、他系統と切り離して独立系統化し、自立的に運用

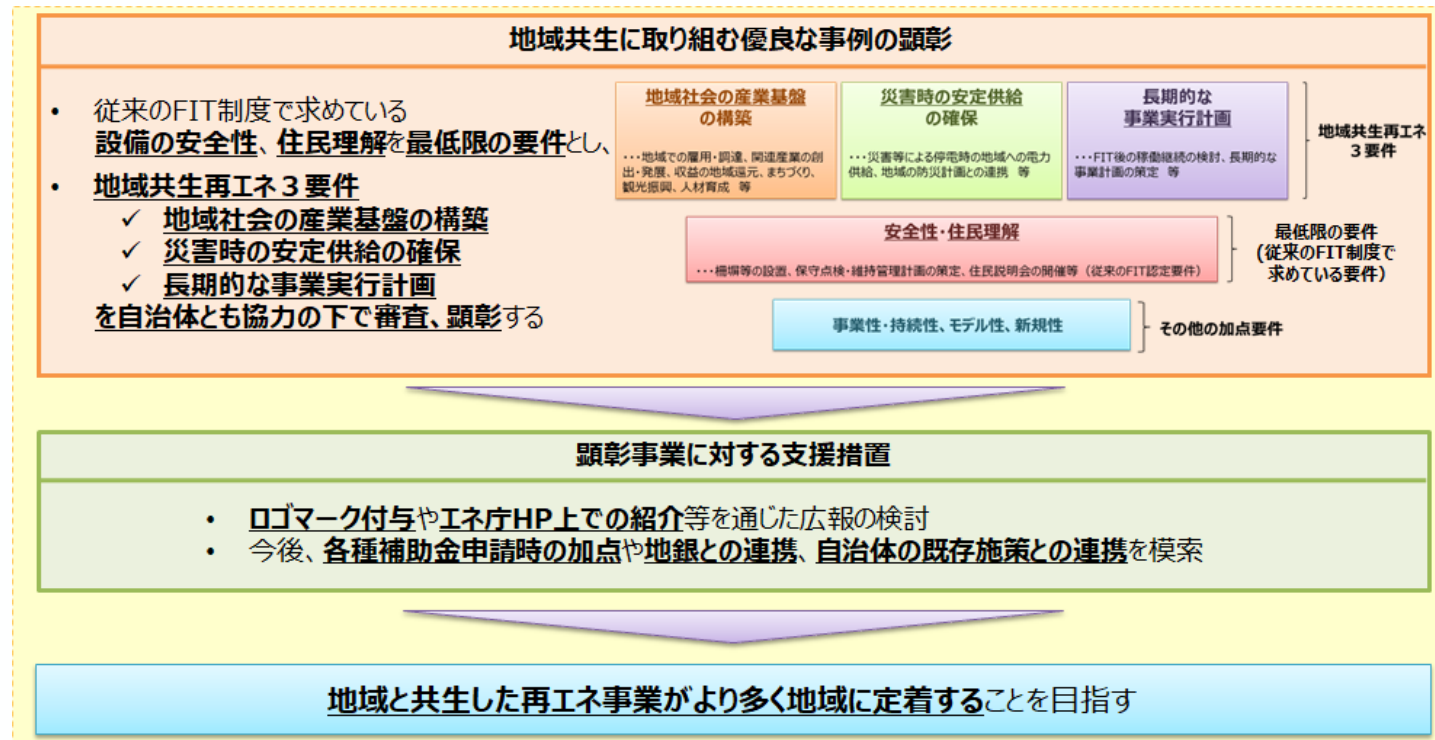


# 地域マイクログリッド構築状況（支援事業）



# 地域共生型再生可能エネルギー事業顕彰制度とは

- 更なる再エネ導入拡大に向け地域の理解や連携が必要となる。地域共生に取り組む優良な事例を広く評価し、取組の横展開を後押しするとともに、マークを付与・更新することにより、地域と共生した再エネ事業がより多く地域に定着することを図るもの。
- 地域の実情に沿った評価をするため、評価プロセスに自治体の関与を求めることとしている。



# 令和5年度 顕彰実績

- 令和5年度は6事業を「地域共生型再生可能エネルギー事業」として決定。

## 令和5年度採択案件一覧

事業名	事業者名	事業場所
地域資源(鶏糞)を用いた循環型エコシステム	みやざきバイオマスリサイクル株式会社	宮崎県 児湯郡 川南町
地域バイオマス資源を活用したトリジェネ バイオガス発電と排熱及びCO2を活用した 脱炭素型施設園芸	株式会社ビオクラシックス半田	愛知県 半田市
地元工務店と連携し民生部門の再エネ導入 促進と需給管理による電気代の安い町を 目指す「フリエネ」	株式会社エネファント	岐阜県 多治見市
風力発電×つがるの農業資源でつくる循環 型まちづくり	株式会社グリーンパワーインベ ストメント	青森県 つがる市
地域共生型再エネ循環プロジェクト 『LED'S(Local Energy Direct Supply)』	株式会社アズマ	福岡県 八女市
再エネの地産地消と地域間流通による地域 共生エコシステムe.CYCLE(いいサイクル)	株式会社まち未来製作所	茨城県 神栖市

## 地域共生マーク





# DR：家庭・業務産業用蓄電システム導入支援

【令和5年度補正家庭用蓄電池等の分散型エネルギーリソース導入支援事業費補助金  
(家庭・業務産業用蓄電システム導入支援事業)】

DRに対応可能な  
**家庭用蓄電システムの導入を支援します**

**補助額** 最大 **60万円** (1申請あたり)

**補助率** **1/3以内**

**補助対象**

- 蓄電システム機器代
- 工事費・据付費

**申請期間**  
2024年**4月10日(水)** → **12月6日(金)**

**申請から補助金受領までの流れ**

● 契約、発注などは必ず交付決定後に行ってください。交付決定前に契約、発注を行った場合は補助対象外となります。  
● 交付決定後は、申請を取り下げた再申請はできませんのでご注意ください。  
※申請や実績報告は販売事業者による代行手続きが必要となります。

📺 公募説明動画をホームページで公開しております。  
公募説明動画 >>> <https://sii.or.jp/DRchikudenchio5r/session.html#A1>

**? DRってなんですか?**

デマンドレスポンスの略称で、電力需給に合わせて電力消費を調整する手法です。  
電力需要が少なく電気代が安い時間帯に蓄電池に充電し、  
電力需要が多く電気代が高くなる時間帯に蓄電池に蓄えた電気を使用することが可能となり、  
ご家庭の電気代の節約が期待できます。

※詳細なサービス内容は販売事業者様を通じて蓄電池アグリゲーター/小売電気事業者にお問い合わせください。

**Q 需給ひっ迫時のDR制御は電気が使えなくなるの?**  
A 電気が使えなくなるわけではありません。需給ひっ迫時のDR制御は、蓄電システムに貯めてある電気をご家庭内で優先的に使用するモード等へ切り替えが行われたりするものが一般的です。

**Q IoT機器 (HEMS) は必須なの?**  
A DR対応するために必要不可欠である場合とそうではない場合がありますので、詳しくは、販売事業者または蓄電池アグリゲーターや小売電気事業者にお問い合わせください。なお、問い合わせの結果必須の場合においても、補助金の対象ではありません。

**Q 他の補助金との併用は可能な?**  
A 国庫を財源としている補助金との併用はできません。ただし、財源が同じ国庫の場合でも補助対象設備が異なる場合や各地方公共団体の助成金等であれば併用は可能です。併用を希望される場合は、念のためそれぞれの担当窓口にもご確認ください。

**Q 補助金はいくらもらえるの?**  
A HPに「補助金計算ツール」を掲載しておりますので、必要に応じてご利用ください。  
(補助金の計算ツール)  
[https://sii.or.jp/DRchikudenchio5r/batterysystem\\_list.html](https://sii.or.jp/DRchikudenchio5r/batterysystem_list.html)  
※計算ツールで算出される金額はあくまで参考の金額となります。

その他、よくあるご質問はSIIのHPで公開しているFAQ (<https://sii.or.jp/DRchikudenchio5r/>) をご確認ください。

問合せ先 **一般社団法人 環境共創イニシアチブ** DR蓄電池事業担当

ナビダイヤル **TEL 0570-099-017** | IP電話用番号 **TEL 042-204-0218**

✉ [dr\\_ess\\_info@sii.or.jp](mailto:dr_ess_info@sii.or.jp) | ※受付時間は10:00-12:00、13:00-17:00(土日祝除く) ※通話料がかかりますのでご注意ください

詳細はホームページ・公募要領をご覧ください。 <https://sii.or.jp/DRchikudenchio5r/>

**SII** 一般社団法人 環境共創イニシアチブ **DNP** 大日本印刷株式会社



# DR : IoT化推進支援

補助金を活用して 令和5年度補正 家庭用蓄電池等の分散型エネルギーリソース導入支援事業費補助金  
ディマンドレスポンスの拡大に向けたIoT化推進事業

## お使いの設備を低コストでIoT化し、 省エネを実現！

本事業では、電力の余剰時や不足時に設備の稼働をコントロールすることで電力需要パターンを変化させるディマンド・レスポンス (DR) の拡大に向けて、まだDRに活用されていない設備の「IoT化」を支援します。

**IoT化のメリット例**

1. 設備利用の最適化によって省エネを実現！
2. DRを実施することでカーボンニュートラルに貢献！
3. リアルタイム遠隔監視・操作対応化による利便性の向上！
4. 改正省エネ法で追加されたDRの定期報告にも！

### IoT化が可能な施設や設備の例

<b>ショッピングモール</b> 空調設備、照明用蓄電池、冷凍冷蔵設備	<b>オフィスビル</b> EV充電設備、蓄電池	<b>ホテル</b> 空調設備、照明用蓄電池
<b>学校</b> 照明、蓄電池	<b>工場</b> 生産設備、自家発電設備	<b>病院</b> 空調設備、蓄電池

↑ ↓

**DRアグリゲーター\***  
ここに掲載されていない施設や設備もIoT化の対象になります！詳しくはDRアグリゲーターにご相談ください

\*DRアグリゲーターの一覧はSIIのホームページからご確認ください  
[https://sii.or.jp/DRIoT05r/draggregator\\_list.html](https://sii.or.jp/DRIoT05r/draggregator_list.html)

**補助率** 1/2以内 **補助上限額** 1申請あたり 2,500万円

DRアグリゲーターが機器を保有する場合、需要家様の初期費用が0円となる場合もあります。

### 全体スケジュール

① 公募説明動画をホームページで公開しております。  
 公募説明動画 >>> <https://sii.or.jp/DRIoT05r/session.html>

**公募期間** 2024年3月14日(木) → 12月6日(金)

**交付決定** 随時 交付申請受付からおおよそ2~4週間程度の審査期間を予定

**事業期間** 交付決定日~2025年1月15日(水)

申請 審査 事業期間 事業完了 / 2025年1月15日(水)まで

事業開始 ▶ 発注 設置 検収 支払い

交付決定日 ※契約、発注等は必ず交付決定後に行ってください。交付決定前に契約、発注等を行った場合は補助対象外となります。

**申請単位** 1申請あたりの申請単位:受電点単位

**補助対象設備** 高圧以上の需要家側に設置されている既存のリソース(蓄電池、空調設備、自家発電設備、生産設備等)をDR対応可能とするための設備(通信設備、センサー、EMS等のIoT化関連機器)

**補助対象経費** 設備費、工事費、設計費

設備のリプレイスに合わせたIoT化も対象になります！

問合せ先 一般社団法人 環境共創イニシアチブ IoT化事業担当  
 TEL 03-6281-5085 | [dr\\_jot\\_info@sii.or.jp](mailto:dr_jot_info@sii.or.jp)  
※受付時間は10:00~12:00、13:00~17:00(土日祝除く)  
 ※通話料がかかりますのでご注意ください

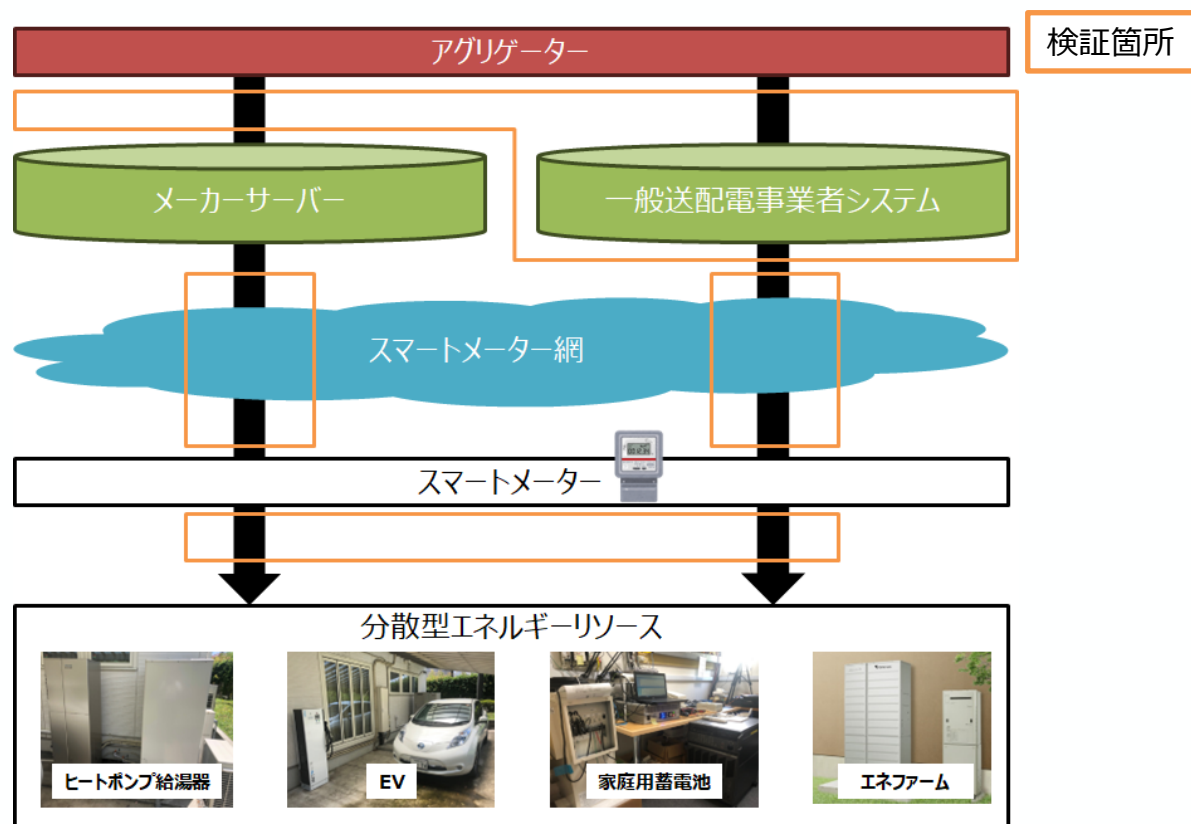
詳細はホームページ、公募要領をご覧ください。  
<https://sii.or.jp/DRIoT05r/>



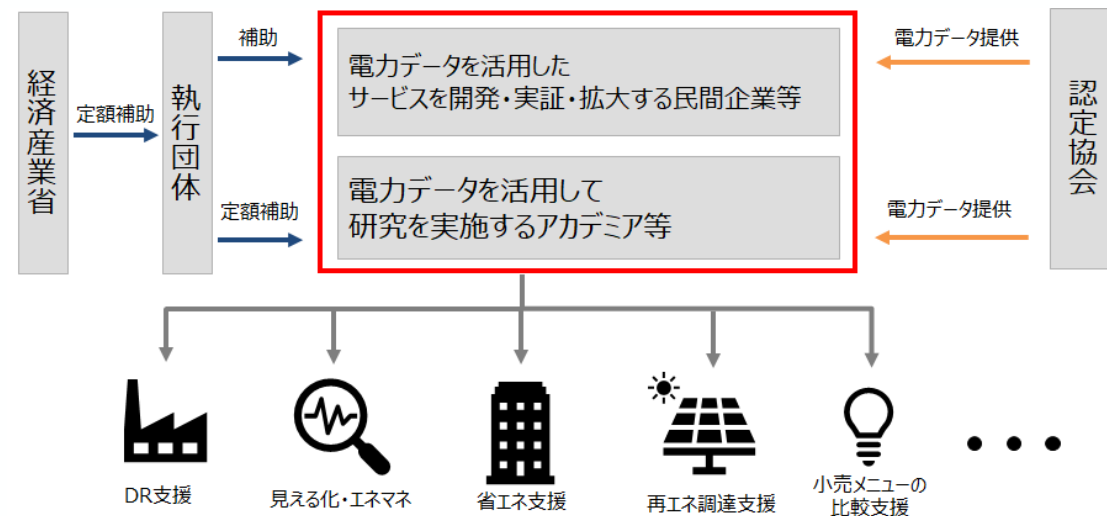
# スマートメーター活用に向けた支援

- スマートメーターによるリソースの外部制御や電力データの活用にかかる支援を実施。

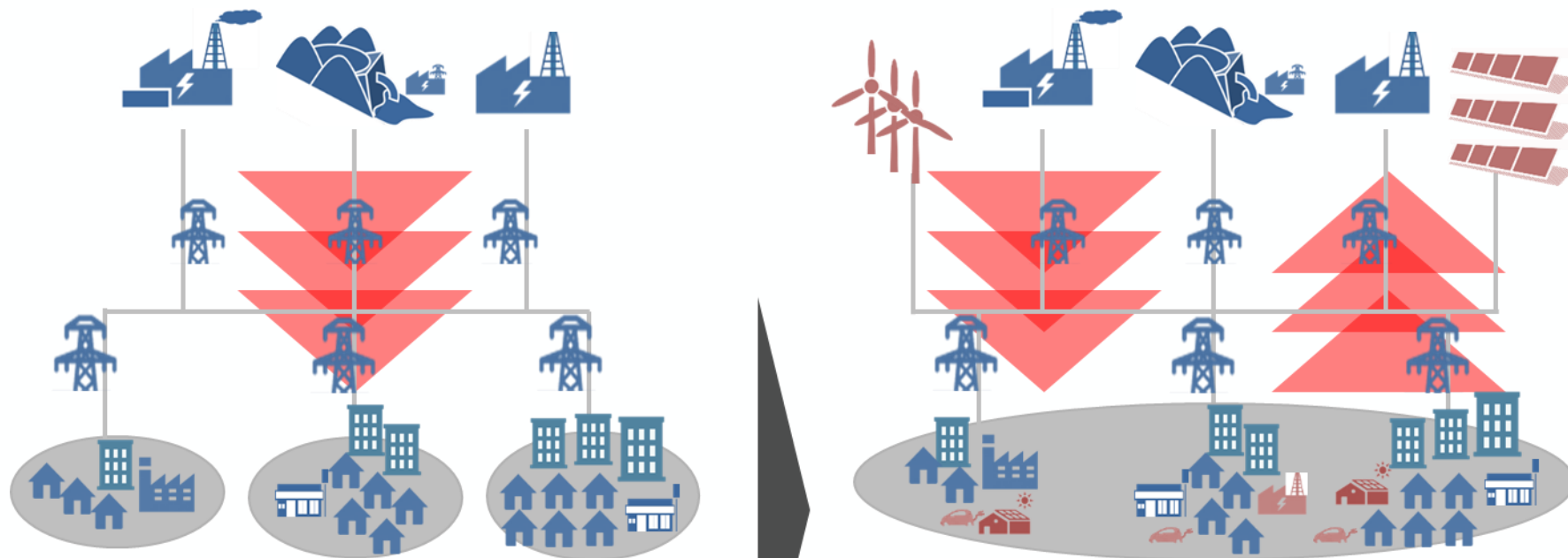
## スマートメーターを活用したDR



## 電力データ活用推進



# エネルギーシステムの構造変化



- ・ 大規模
- ・ 集約型
- ・ コンシューマー

- ・ 小規模
- ・ 分散型
- ・ プロシューマー